

②1 雪遊び



(活動時間の目安：特になし)

概要	スコップもしくはシャベルを使って、雪像やかまくらづくりなどをする活動プログラムです。			
ねらい	表現のアイディアや作り方の工夫などの想像力を育みます。また、ルールを守って安全に活動する力を育みます。			
条件	対象	幼児～	人数	制限なし
	時期	1月～3月（積雪時）	実施判断	雨天時や強風時は中止
準備物	交流の家（貸出物品）	団体（準備物）		個人（準備物）
	□スコップ □シャベル □バケツ	□救急セット		□長靴 □防寒具（スキーウェア、帽子、防水手袋等）、ゴーグル
引率者の役割	団体責任者	実施判断・中断の決定をします。また安全の確保のために引率者のコース配置や巡回を指示します。		
	グループ責任者	・活動前後の人数の把握と健康状態の確認をします。 ・安全の確保と事故防止のための巡回をします。 (学校では担任が一般的)		
	救急係	救急セットの携帯と応急手当をします。		
交流の家職員の役割	・物品の貸出や回収を行います。 ・引率者に活動の流れと安全面についての説明をします。 ・返却物品の個数と破損の有無の確認をします。			
活動の流れ	【活動前に引率者が行うこと】 ・引率者間で役割分担をし、参加者へ事前指導（安全指導・準備確認など）をします。貸し出し物品を使用する際は返却方法を確認します。 【活動】 ・グループ責任者は参加者に安全面について指導を行います。 ・参加者は作るものや場所などの計画を立て、活動します。 【実施後】 ・参加者は作った作品の発表を行います。 ・引率者と参加者は雪遊びで作ったものを活動終了後（その日のうちに）必ず崩して、穴などがある場合は埋めます。 ・グループ責任者は参加者の人数の把握と健康状態の確認をして、事務室に終了の報告をします。報告後に貸出物品の雪や水をよく落として返却します。			
安全管理留意事項	○スコップやシャベルを使う際は十分に間隔をあけて活動してください。 ○除雪した雪が山積みになっている場所は、崩れやすくなっているので登らないように引率者を配置してください。 ○雪像やかまくらは水分を含んだり、気温が高くなったりすると雪が解けて崩れやすくなるため、雨天時や氷点下にならない日は十分に気を付けて活動してください。 ○かまくら内には脱出用のスコップ・シャベルを必ずおいてください。 ○貸出物品の破損・紛失の場合は団体に弁償していただきます。			